### 松倉とし子新聞 24号 展行㈱十一屋内 とし子の会事務局

〒990-2338山形市蔵王松ヶ丘2-2-24 1m023-689-0011 fax689-0012

## とし子さん「共にステージに立つ喜び」 ~東京コンサートを終えて、母と子の対話~ 望君「全国から望まれる母は誇り」



玉田元康

鹿島武臣

松倉望

吉田秀行

西脇久夫

#### 「第4回 松倉とし子&ボニージャックス しあわせのハーモニー」

2016・9・1 於:東京・渋谷 渋谷区総合文化センター大和田 伝承ホール

9月1日、東京の渋谷で、とし子さんが名 コンビのボニージャックスと組んだ第4回目 の東京コンサート。冒頭から1時間ぶっ通し でとし子さんが、金子みすゞを名手・篠崎仁 美さんのピアノでうたい、語った、後半はボ ニーさんの懐かしく優しい魅惑の歌声。

しかし、今回のコンサートで特筆すべきは、 19歳のバリトン、松倉望君の本格的東京デ ビュー。東京のお客さんは、大型新人歌手の 登場に目を見張ったが、とし子さんの愛息と 知って、二重に驚いた。

今回の紙面では、東京コンサートを終えて、母と子に改めて最近の音楽活動などを振り返って話し合ってもらうことにした。望君は母のとし子さんに似た「イケメン」だが、性

格は父の公一さんにそっくりで、口数が少ない。そこで編集部(中尾)と長年のとし子さんの音楽活動の協力者・大沼潤さん(東北映音専務)が脇から、発言を促すことにした。

# ―望君、歌う勉強は、どんな風にやっていますか。

望「山形大学卒業で今オペラで大活躍中の バリトンの歌い手の鈴木集(つどい)先生に、 今年の3月から、月2回、家に来ていただい て、2時間くらい歌の指導を受けています。 東京のコンサートで、ソロで歌った「荒城の 月」や「Largo」も、鈴木先生に歌う指導を 受けたものです。

# ―お母さん(とし子さん)でも、あなたの先生は務まる訳でしょう?

望「母とは、指導を受けているうちに、 感情的になって、うまくいかないときもあ ります」

一よく、ゴルフでも、夫婦で教えるとう まくいかない、なんて言いますが、それと 一緒ですね。

望「それだけでなく、声の問題もあります。男性と女性の声の出し方が違うので、 男の鈴木先生の指導を受ける意味があります」

# ―望君のボーイソプラノは素敵でしたが、ボーイソプラノとして歌えたのはいつまでですか?

望「中1くらいで声変りが始まった。声変わりすると、高音が出なくなるだけでなく、声がかすれて、低音もうまく出ません」 一いま、19歳ですね、再び歌い始めたのは?

「本格的に歌い始めたのは山形東高に 入ってからですね」

#### ―いま、山形大学の1年生ですね。 大学の歌うグループに入っていない んですか?

望「入っていません」



左端は篠崎ひとみさん(ピアノ)鹿島さん とし子さん 望君



望君ととし子さん 夜の打ち上げで

(ここで、とし子さん登場)

とし子「山形にアマデウスコアという素晴らしい合唱団があって、これは山形交響楽団の演奏会で合唱を務めます。入るにはオーディションがある本格的合唱団。鈴木先生は、望君なら、受ければ入るよ、と言ってくださっています。わたしは、腕試しに受けたら、と言っていますが、本人にその気はなさそう」

# 一合唱団に入るのは勉強になる、という訳ではないんですか?

とし子「合唱は、声を作り、アンサンブルを学ぶにはとても役に立つんですが、合唱で歌うこととソリストとしての勉強は少し違いもあると思います」

望「何も決めていない。いまのところ、合唱団に入りたいというのはないです」

とし子「鈴木先生のレッスンを受けているのを聴いていると、望は実にのびやかに歌っている。

自分を解放できている。自由に、自 分の望み、夢を込めて歌えています。 こんなのびやかに望は歌えるのか、と 思い、そのことが母としてうれしい」

# 望「悩みも、何もかも忘れて、歌うことだけに集中できます。どんな時でも、歌えば、いやなことは忘れられます」

とし子「望を見ていてびっくりするのは、ステージで過度の緊張なしで歌えること。 私は、20歳くらいになって初めてコンサート活動をスタートさせたので、はじめは自分の持っているものの半分も出せなかった。中田喜直先生に巡り合って、「あなたはそのままでいいんだよ」と言われて、すーっと肩の力が抜けて自分の力が出せるようになりました」

一音楽環境の違いなんですかね?

とし子「望は小さいときから舞台に 出ているから…。『キャリアは19年 (生まれてからの人生と同じ)あるん だぞ』なんて言っています」

望「そんな、生意気ないい方しませんよ」 一望君の歌い手としての良さとは?

とし子**「音楽的な耳の良さには私も 驚きます。** 

望は、誰かがメロディーを歌うと、 それにあわせてすぐハーモニーをつ けることができるのです。生まれつき 絶対音感が備わっていたからかもし れませんね。

母と息子でデュエットができるのはそのおかげなんですね」

一望君から見て、お母さんはどんな人?望「毎月のように、全国に出かけて行って演奏活動をしている。小学校のときは、母がテレビに出たりするのが、友達にいろいろ言われるので、すごく嫌だった。今は、全国の人に望まれて行き、喜ばれる。息子として、母は、誇りです」

一望君はこれからどうなるのか、何も決めていないようだが、だからこそ前途洋々、 希望がいっぱいですね。



ボニーさんととし子さん

一さて今回のコンサート、内容は去年の 東京コンサートと同様か、それ以上の出来 だったという声が高かった。とし子さんの 金子みすぶの歌。語りが皆さんの心を打っ た。

とし子「ボニーさんと私のコンビのコンサートが、東京のお客様に定着してきたのでしょうか」

#### 会場に来たお客様に対して、精一杯 歌うしかない。

一ただ、コンサートの内容といわゆる客の入りは微妙なずれがあり、去年のように 超満員の入り、とはいかなかった。

とし子「私たち歌う側は、会場に来てくださったお客様に喜びと感動と笑顔をプレゼントできるように精一杯歌い、語ります。 そのことが、次にたくさんのお客様がいらしてくれることにつながると信じて・・・」

#### とし子・望共演の注文

とし子「その意味で最近、時々、松倉とし子さんと松倉望さんで歌ってほしいという出演依頼があることは幸せです。東京でも来年夏、二人名指しのご依頼があります。これまでのコンサートに来てくださった方が、評価して、所望してくださったのかと、本当にうれしいです」(11 月 7 日、山形・十一屋本店で)

インタビューシリーズ・とし子さんの愉快な音楽仲間たち

⑦東北映音専務・大沼 潤さん

### 「TVで歌い語り、絶妙のマイク使い

"歌声茶論"はライフワーク」



大沼潤さん

大沼さんは1979年、早稲田大学を卒業と同時にYBC山形放送に入社。現在番組制作会社「東北映音」専務。25年ほど前、山形放送のテレビ番組「松倉とし子さん 四季の調べ」(毎週日曜・8分間の歌番組)の担当ディレクターとなったのがきっかけで、とし子さんと交友が始まった。現在放送中ののYBCラジオ「松倉とし子 うたの花束」では、プロデューサー兼ディレクター。

一当時のとし子さんの印象は?

「当時の山形放送の社長が「天皇」と言われるほど権勢があり、『その番組を作れ』という『鶴の一声』で始まった番組でした。『ああ、面倒なことになった』というだけでなく、私はクラシック出身の歌手に対し、しかめっ面しないで、歌い、語り、ハンドマイクを使えるものか、と偏見がありました。しかしやってみると、とし子さんはみんなクリアー。何よりマイクの使い

方が圧倒的にうまかった。それに、照明スタッフや、カメラマンにも、敬意をもって接してくれました。それから、すっかり友達になり、いろいろ仕事をすることに」

一大沼さんは、松倉さんと山口ロケまでして、金子みすぶの番組を作った。

「中田喜直先生の作曲で、この詩を歌うコンサートをするのよと、みすゞの詩の載った絵本を見せられた。初めて読んだみすゞの詩にショックを受け、コンサートを入れ込んだ番組を作った。どうせなら、山口まで行って、みすゞを紹介してしまえと、とし子さんに長門の海浜を歩いてもらって撮影したりした。松倉さんとの縁で、みすゞを知ることができた。素晴らしいことです」

一今後、とし子さんは、どんな活動に重点を置くべきか?

十一屋レストランで開かれている「歌声茶論」は 109 回に達したと聞きました。松倉さんのもう一つのライフワークだと思います。ここでは松倉さんは歌い手ではなくピアノの伴奏に徹しています。「歌声茶論」ではカラオケでは味わえない幸福感をピアノ1台で味わうことができます。ただしそこにはみんなをひっぱっていくことのできる「リーダー」が必要です。その役割を気負うことなく、これからも山形の街角でずっと続けてほしいと願っています。

(編集部から)○1996 年秋、山形市のアズ七日町でとし子さんと中田喜直先生が開いたコンサートで、初めて金子みすぶの詩に出会った○その素晴らしさに圧倒された○論理的なのに抒情的、いや、抒情的なのに論理的というべきか○私は、ジャーナリズムの世界で生きてきたが、みすぶはジャーナリストそのものであり、到底かなわない○(ふしぎ)私は不思議でたまらない 誰に聞いても笑っててあたりまえだということが一不思議と思うこ

と、それがジャーナリズム入門だ〇〈大漁〉 浜は祭りのようだけど、海の底では何万の魚 の弔いするだろう一視点を変えてわかる、残 酷な真実〇(星とたんぽぽ)昼のお星は目に 見えぬ 見えぬけれどもあるんだよー事柄の 見えない本質を見えるようにして伝えるのが ジャーナリズムのしごと〇(私と小鳥と鈴と) みんな違って、みんないいーこれがジャーナ リズムの目的〇とし子さんは、金子みすゞと いう素晴らしいテーマに恵まれた(庸)